

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

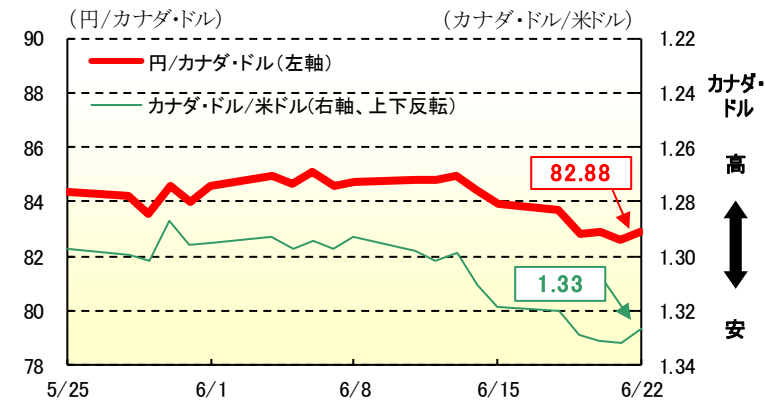
【2018年6月16日～2018年6月22日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円は下落し、カナダ5年国債利回りは低下しました。

週前半は、米国が中国に対する新たな制裁措置として、中国からの輸入製品総額2000億ドル分に対し10%の関税を課すと公表した事や、NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉に対する影響が懸念されたこと、また原油価格の反落も重なり、カナダ・ドルは下落するとともにカナダ金利も低下基調となりました。週後半は、発表された経済指標は軟調であったものの、OPEC（石油輸出国機構）総会で減産緩和合意が中途半端な内容にとどまったと判断されたことによる原油価格上昇を背景に、カナダ・ドルはやや反発しました。

### 【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年5月25日～2018年6月22日)

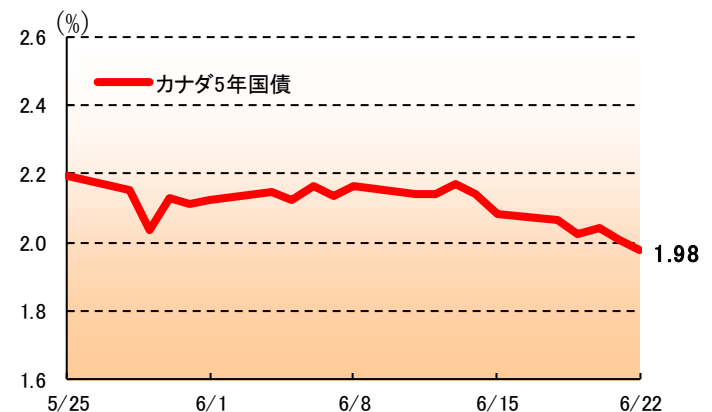


※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。  
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

今週は、カナダでは4月のGDP(国内総生産)や5月の鉱工業製品価格、4-6月期のカナダ銀行企業景況感調査が発表される予定です。企業景況感調査は、最近の経済指標の弱含みが、基調的なものか、悪天候並びに他の要因による一時的なものかを判断する材料となります。また、27日(現地)にポロズ総裁の講演が予定されています。最近の経済指標および貿易面の不透明感に関して、どのような言及がなされるか、また利上げ予想に対する示唆があるかどうか注目しています。

### 【カナダ 金利推移】 (2018年5月25日～2018年6月22日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>